

第53回原子力委員会定例会議議事録（案）

1. 日 時 2000年8月29日（火）10：30～10：45

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 藤家委員長代理、依田委員、遠藤委員、木元委員
（事務局等）科学技術庁

原子力局

政策課 藤井

核燃料課 芝野

原子力調査室 伊藤室長、千原、山越、鯉渕

通商産業省

資源エネルギー庁

原子力産業課 上田、刀禰

原子力安全・保安院設置準備室 山田

開発課 春日原、吉野

原子力発電課 中村、早川

原子力発電安全企画審査課 吉田

原子力発電安全管理課 宇賀山、原

吉舗専門委員

4. 議 題

（1）平成13年度原子力関係予算ヒアリングについて（経済産業省）

（2）日本原燃（株）の六ヶ所再処理工場の工事進捗状況について

（3）その他

5. 配布資料

資料1 平成13年度経済産業省原子力関係予算概算要求の概要

資料2 日本原燃（株）の六ヶ所再処理工場の工事進捗状況について

6. 審議事項

（1）平成13年度原子力関係予算ヒアリングについて（経済産業省）

標記の件について、通商産業省より資料1に基づき説明があった。これに対し、

「高レベル放射性廃棄物等バックエンド対策の強化」の予算が、前年度よりも減っているが。

(通商産業省) 当該予算においては、核燃料サイクル開発機構が実施する研究開発費等を含んでいない。その額を合計すると、前年度よりも若干増となる。

「電源立地促進対策の強化」について、「原子力関係以外も若干含む」との記載について、説明して欲しい。

(通商産業省) 電源立地特別交付金、電源立地等初期対策交付金、電源立地域振興促進事業費補助金は、原子力に限らず、他県にどれだけ電力を移出しているか等をベースに算定している。原子力の立地地域では原子力の貢献度は非常に高いため、「原子力関係以外も若干含む」という記載となっている。

原子力安全・保安院の今後の成果を期待する。

等の委員の意見及び質疑応答があった。

(2) 日本原燃(株)の六ヶ所再処理工場の工事進捗状況について

標記の件について、事務局より資料2に基づき説明があった。これに対し、今回特に目立った工事は何か。

(核燃料課) 7月はじめに実施した、溶解槽の搬入である。

チャンネルボックス・バーナブルポイズンという名称は、一般には分からない。日本語ではどう表現するか。

チャンネルボックスはBWRの燃料を入れる覆いである。バーナブルポイズンは、可燃性毒物という訳語があるが、原子炉の中に入る反応度をいつも一定以下に抑えるもの。

(核燃料課) 原子炉の燃料集合体の、ある部分の固有名詞である。

等の委員の意見及び質疑応答があった。

(3) その他

事務局より、次回は9月1日(金)に臨時会議を10:30より開催する方向で調整したい旨、発言があった。